

2022年4月14日
(改版)2022年6月1日

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ
HULFTテクニカルサポートセンター

HULFT-WebFileTransferの表示が文字化けする事象について

拝啓

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
特定の環境下において、HULFT-WebFileTransfer の画面が文字化けして表示されてしまう、
もしくは表示されない事象について以下のとおりご連絡をさせていただきます。

敬具

下記の「発生条件」に記載した Apache Tomcat のバージョン範囲で事象が発生します。記載した Apache Tomcat のバージョン以外をご利用されるか、または記載のバージョンをご利用される場合は「回避策」に記載した方法で回避していただけますよう、お願いいたします。

-記-

■発生事象

HULFT-WebFileTransfer において画面の文字化けもしくは画面が表示されない事象が発生する場合があります。

■対象製品およびバージョン

HULFT-WebFileTransfer Ver.3.1.1～Ver.3.3.0

■発生条件

Web サーバ/アプリケーションサーバとして下記のバージョン範囲の Apache Tomcat を使用した場合に発生します。

Apache Tomcat 8.5.76～8.5.78

Apache Tomcat 9.0.59～9.0.62

■発生原因

「発生条件」に記載したバージョンにて、Apache Tomcat の動作が変更になったことで発生しております。

結果としてブラウザ側がエンコードを「Shift_JIS」と判断してしまい、文字化けもしくは画面表示に問題が発生します。

ApacheTomcat の変更詳細は以下の通りです。

【変更内容】

catalina.jar ファイル内の
org/apache/catalina/util/CharsetMapperDefault.properties ファイルにおいて、
下記設定が追加されました。
ja=Shift_JIS

本変更により、HTTP レスポンスヘッダに Content-Type:の「charset=」が設定されておらず、Content-Language:に「ja」が指定されている場合、「charset=」に「Shift_JIS」を ApacheTomcat 側で追加してしまう動作となります。

HULFT-WebFileTransfer のレスポンスは上記条件をみたしているため、UTF-8 コードのレスポンスを返しても、ApacheTomcat 側で Content-Type:の「charset=」に「Shift_JIS」をセットし、文字化けなどの問題が発生します。

なお、Apache Tomcat 8.5.79、Apache Tomcat 9.0.63 において、【変更内容】に記載の設定が削除されたため、当事象は発生しません。

■回避策

Apache Tomcat の動作を変更することで回避できます。

動作変更は下記手順となります。

※サーバ OS が Linux の場合は、手順の「¥」を「/」、「フォルダ」を「ディレクトリ」に置き換えてください。

□手順 1: TOMCAT_HOME¥lib の下にフォルダ「org¥apache¥catalina¥util」を作成してください。

□手順 2: lib フォルダにある「catalina.jar」ファイル内から、下記対象ファイルを抽出してください。
対象ファイル：org¥apache¥catalina¥util¥CharsetMapperDefault.properties

※jar ファイルは、jar コマンドまたは zip ファイルの展開ユーティリティーで展開することができます。

※展開作業は一度「catalina.jar」ファイルを別フォルダにコピーして実施してください。

□手順 3: 手順 2 で抽出したファイルを、手順 1 で作成したフォルダにコピーしてください。

□手順 4: 手順 3 でコピーした設定ファイルを編集し、下記をコメントアウトまたは削除してください。
ja=Shift_JIS

□手順 5: Apache Tomcat を再起動してください。

※詳細につきましては ApacheTomcat のサポートベンダー様までご確認をお願いいたします。

■対応

Apache Tomcat の該当のバージョンにおいても文字化けしないように対応を実施した製品を、リビジョンアップとしてリリースする予定です。

【改訂履歴】

2022 年 4 月 14 日	初版作成
2022 年 6 月 1 日	Apache Tomcatの対象バージョンを追記

以上